

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名： 小規模多機能ホーム ハッピーハウス

施設種類： 小規模多機能型居宅介護

日時： 令和 8 年 6 月 1 9 日 (金) 午前 1 0 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分

会場： 出雲市東部健康交流館 うるおいの郷

出席者
(人数)

利用者、家族	1 人	高齢者あんしん支援 センター職員	1 人
地域住民の代表	4 人	出雲市職員	1 人
その他 (施設役員、管理者)			2 人

(議題)

1. 登録実績と利用状況
2. 職員体制
3. 行事・レクリエーション報告
4. その他

(報告事項)

1. 登録実績と利用状況について
年齢、性別、介護度、家族状況、生活圏、月毎にサービス
利用状況を報告。状態の変化に伴う援助内容の報告。
【別紙、サービス提供状況報告書を配布】
2. 職員体制
職員体制の報告。
3. 行事・レクリエーション報告
6 月発行のお便り配布しました。昔のあそびを取り入れた
レクリエーションでは、だるま叩きやボール送りなど 2 チームに分かれて
競いながらも協力して行われていました。そのやり取りは
言葉はなくても表情を見ているだけでとても微笑ましくて
優しい気持ちになりました。
手作業のひとつとして紙などで作った笹と偽団子で笹巻きを
して貰った様子も載せています。食べ方についても話が弾み
昔ながらのこの季節を味わうことができました。

4. その他

【家族より】

○2月から父が利用。デイサービスには行きたくないと言うし何か刺激を受けた方が良くと訪問リハビリに来て貰っていた。母が入院してから行動がおかしくなって利用を相談した。心配していたが決まった曜日には通える様になっている。二世帯ではあるが両親を観ている自分に何かあったらと思っていたが、今ではハッピーハウスが拠り所となって気持ちが楽で安心できている。

【地域から】

○先日、地域福祉委員の研修会として介護について相談を受けたらどうすれば良いか、小多機の良さなど話して頂いた。介護施設だけど小規模多機能の名前だけで何も知らなかった人も多く居た様だった。

○デイやショート、と違って小多機って何？と聞かれてパッと言えない。

一言でイメージしにくい。小規模多機能と言わなければならないか。

ハッピーハウス(多機能ホーム)など、表記の仕方を選べると良いのでは。

○自宅で高齢者を観ていると出掛けにくいし、24時間対応、とか、急な対応が出来る、などは本当に助かると思う。

○地域回覧のお便りにもっと緊急の対応や24時間対応ができますよとか、手作りの食事なども載せて、分かりやすく、絶えず書き続けて。

★令和8年度小規模多機能型居宅介護サービス評価に向けて

- ・防災気象情報の名称変更に伴って防災計画(BCP)の策定・更新を確認
- ・施設内部の設えや利用者の皆様の様子をご視察頂く